

波 紋

1997 11 月 第149号

第5回 「元気が出る森松展」

—いま ここ 生情報— 10月2・3日



「第5回元気の出る森松展」も皆様のお陰を持ちまして無事終了する事ができ厚くお礼申し上げます。今回のご来場者数は620名と、目標の600名を達成することができ実行委員会のメンバーも内心「ホッ」としております。

これもお忙しいなか2日間に渡りご協力して頂いた出展企業様と、ご来場いただいたお得意様のお陰だと深く感謝しております。しかしながら、行き届かない点も多くあり、講演会ではせっかくご来場頂いたのに会場に入りきれなかったこと等、皆様のご期待に添えなかったことを、この書面を借りお詫び致します。またアンケートでは、今回も貴重な意見をお聞かせ下さいまして誠にありがとうございました。

皆様の「生きた」ご意見を反映させ、来年はより一層喜んでいただける展示会にいたす所存ですので、来年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ご協力本当にありがとうございました。

第5回元気の出る森松展実行委員長 山口・稲葉

「展示会の感想」

元気の出る森松展が無事終了して、ほつとしています。景気の低迷と、ダイオキシン問題が逆に業界関係者を奮起させた感じがする。環境問題の講演会には70名を超える入場者を集め、会場が小さくて入場出来ない人が出た程の盛況だった。

出展企業の中には、「日本人は塩ビが大好き」と大きな、スローガンを堂々と出していた。それを見たライバルメーカーは、「世界中が塩ビを必要としている」で次回はやろう!!! なんて、悪ノリしていました。

開き直りも、発想転換するには大変役立つものだ。昨年は抗菌素材一色だったが、今年は電磁波モールド、インクジェットプリント、特殊エンボス技術を生かしたシート、それに光るシート(蛍光、蓄光、集光)など、塩ビ復活のキザシが見えてきたようだ。

多機能高付加価値素材が出展されていて、光りものだけに、先行きの明るさを象徴しているかのようでした。

やっと明るさ、元気の出て来た、ビニール業界に今夜も今夜も杯益。

森 信之

トシ君の一方通行

僕のお父さんはビニール屋だ

昔は銭湯が多く存在した。今の流行のスーパー銭湯じゃないし、現在のサウナだと色々な設備がある銭湯でもない。いわゆるでかいタイルの風呂場であります。昔は親父たちが子供を連れてきました。親父には職業の匂いがありました。鉄工屋さんに勤めている親父さんは鉄と油の臭いがし、八百屋さんは野菜の、魚屋さんは魚の臭いがしておりました。そういう親父さんが大変一生懸命働いて銭湯の熱い湯につかるとき「ああ極楽 極楽」と幸せそうにつぶやいたものです。よっぽど一生懸命働いたのでしょうか。言葉に自信が満ち溢れているのです。自分の職業に誇りを持っていましたよ。だから臭いがしたんです。今の学校で教師が生徒に「君のお父さんの仕事はなんだい」と問うたらおそろく多くの生徒は「サラリーマン」と答えるでしょう。サラリーマンであるか経営者であるかを聞いていない、親父が職業を誇っていないから子供は語らないんでしょうね。だから鼻ができないんです。森松マンは体からビニールの臭いがしなければなりません。頭は可塑剤入りで柔らかく大事なところは3日でカチカチでなければなりません。森松の親父の子供たちは先生に聞かれたら「ビニール屋だ」と答えて欲しいものです。「たかがサラリーマン されどサラリーマン」「されど」になりたいものです。現在では殆どの家に立派な風呂がありますが、さて親父は自分の職業に誇りを持っているでしょうか。でなければ子供に語れんわなあ。

森 英利

森松クインテット

「8020」

先日、八十二才になる母が、「八十才で二十本以上自分の歯のある人!!」ということで、表彰状と記念品をもらってきました。(ちなみに母は自分の歯が二十四本もあるとのこと)

母は歯が悪くなくても年に一度は歯石を取ってもらいに通ったりして、確かにとても大事にしていました。それは母がまだ小学校高学年の頃、自分の母親がその頃にもう歯石を取ることを教えてくれたと言っていた。(その話はいい最近聞きました) その教えを長い間忘れずに守ったことが今日の表彰につながったことと思います。

私は母に早く歯医者に行くように言われても守らなかったもので、とうとう何本も抜くハメになってしまいました。手遅れでした。先日の森松展の時、歯が浮いてしまっただうにもならなくなり痛い目に合ってしまったと歯医者に行き、「ギャァン」です。

それにしてもこれだけ医学が進んでいると言うのに、歯槽膿漏は治すことが出来ないなんて、抜かなければ隣の歯まで悪くなるというのです。

考えてみれば、歯医者へはこの五十四年間に、四、五回しか通ったことではないのですから好い加減なものでした。これからは母の言い付けを守って、母の様に八十才になっても自分の歯が二十本以上あるように努力して、こうと決意した次第です。



(レモン) 森 ちか

喜怒哀楽

ヤクルト優勝！万歳！

ヤクルト優勝！ 万歳！ 万歳！ 万歳！
今年のヤクルトは強かった!! ○○球団のように入スター選手がいる訳でもないし、球場がドームになった訳でもないし、開幕前から、ヤクルトの優勝を予想していたのは、私ぐらいでしょう。私は学生時代からのヤクルトファンです。私の学生時代は、ヤクルトは弱小球団(お荷物球団)でしたが、何か自由奔放でさわやかなイメージがしました。好きな選手は若松選手。こんなに、強いチームになるとは、!? 申日も頑張つて下さいネ！(まずは、Aクラスを目指して!!)

高校時代は、学校帰りに中日球場でアルバイトをしていましたが、ヤクルト戦が本当に楽しみで、野球観戦が出来て食事付きでお金ももらえて、串カツや焼きソバが余ればお土産付きの最高のアルバイトでした。

アルバイトを辞めてからは、中日球場へ足を運ぶ回数が減ってしまいました。もっぱら、テレビ観戦ですが、今年の名古屋ドームが出来たので、もう、中日球場で試合をすることも無いでしょうネ！(何となく寂しい気持ちがあります。) 今年も、名古屋ドームでの野球観戦は、一度も無かった(チケットが手に入らない)ので、来年は、是非、名古屋ドームでヤクルトの勝ち試合を拝みたいと思います。



(レモン) 村田恒夫

おまの村より 常務は 羞子に なるのみすかと

T.R.あり

第5回元気が出る森松展 懇親会

日時：10月2日

18：30より

場所：栄太郎 星崎店



森松展初日の10月2日の夕方6時半より栄太郎星崎店にて懇親会が催されました。森松展に出展いただいた各企業のみなさま43名とお客様・森松マン合わせて総勢70名余のたいへんにぎやかな懇親会となりました。



森社長のあいさつの後、アキレス株式会社フィルム販売部小野部長からご挨拶をいただき、乾杯で始まりました。森松マンたちは忙しくビールを注ぎに回り、あちこちで世間話や仕事話、いろんな話題で盛り上がっていました。今年初めて出展いただいた企業の方のご紹介や、中国の仲間の陳さん・楊さん・倪さんの紹介、そして杉電機産業株式会社杉浦社長の「一生森松と付き合いどうぞ！」の劇的なコメントで最高潮を迎え、たいへん楽しく、本当に懇親を実現できた宴でした。ありがとうございました。

(さくらんぼ) 西口悦史

暮らしのエッセイ キャンプは楽し!?

その日私たち家族はめずらしく時間通りにキャンプ場へ着きました。林の中で岩場を避けて平らな所にテントを設営します。「早く着く」といふ場所がとれる一と喜んでいたのですが、これが後々の悲劇の始まりでした。遅めの昼食、マスのつり、夕食のバーベキュー、と予定をこなしたテントでトランプを始めたころから雨が降り始めました。にわか雨には何度も降られていた私はさして気にもとめなかつたのですが、雨あしは強まる一方です。ふと床に目をやると、テントの生地がプワプワと浮いています。触ってみると明らかに床下に雨水が溜まっています。わがわがわが、おそろおそろ外を見てビツクリ、テントは湖に浮かぶ小舟（そんないいものではない）状態です。このままではプールで泳ぐ夢を見るのは必至、というわけでオヤジの後姿を見せるべく必死の思いで外へ飛び出して初めて気付きました。平らな場所はテントを張るためにそうなったのではなく、単に雨水の溜まり場所だったのです。今さらテントの回りに溝を掘ってもなんと溜まっただ水を斜面の下の方（＝他のテントの方）へ流し始めました。川上（少なくとも私にはそう見えませんでした）から流れてくる水はテントを迂回させて、これも川下のテントへ流してやります。私の遠大な計画は思いのほかうまくゆき、ひとり悦に入った私は家族のもとへ意気揚々と引き上げていきました。ところが、心配して待っているはずの家族は思い思いの格好でバク睡しているではありませんか！私はオヤジの威厳がガラガラと音をたてて崩れていくのを感じました。雨音が気になって一睡もできず、次の日ぼやけた景色の中でハシヤギ回の子供たちを眺めながら、居場所のなくなった十年後のオヤジの姿に思いを馳せる私なのでした。



(アキレス) 坂本隆志

平成
9年 11月の社内行事

- 1日(土) 第一土曜日休み
- 2日(日) 久野さん誕生日
- 3日(月) 文化の日
- 4日(火) 誕生日会 12時
- 6日(木) DO ストックの会 18時
- 8日(土) 第一土曜日休み
- 9日(日) 社長・西田さん、中国出張 15日まで
- 15日(土) 第三土曜日休み
- // 岩間さん誕生日
- 23日(日) 勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 稲葉友昭さん誕生日
- // 経営会議 7時30分
- // 営業会議 17時30分
- 28日(金) 坪井さん誕生日

サークル紹介

ひまわり



みなさんこんにちは、ひまわりチームです。今日も、明るく、元気に頑張っています。倉庫、配送は、メーカーさん⇨会社⇨お客さんとの大きなパイ役となり、今日も地道に健闘しています。今後とも皆さんに安心してお任せ頂ける様に、确实、迅速を、もつとくに明るく元気にやります。

何でもやる、ひまわりチームを宜しく

横山敏秋

家族忘年会

開催日：12月13日(土)

場所：栄太郎星崎店

編集後記

体を動かすのに丁度良い季節となりました。私も自分では動いていないのですが、先日地元祭りの祭りに物行ってきました。何でもこの祭りは五年に一度行われるもので、町中の山車三十一台が一箇所に集結するところが大きな見物となっています。私がそこで感じたものは、人の目、祭りに参加している人、見物に来ている人も皆一同に目が輝いているところでした。やはりこの祭りを必ず成功させざるぞ！という思いが一つに集結している結果だと思っています。

お陰様で、二日間行われていた祭りも、一日が雨という悪条件の中で過去最高の四十五万人もの見物客で盛り上がりました。五年後また行いますので、是非見に来て下さい。ちなみに私の地元は「半田」です。



(ホビー) 谷澤 亨

編集発行者
森松株式会社

編集責任者

森下友博

平成9年11月1日
第149号